

令和5年度 第6回 神戸中学校学校運営協議会 実施報告書

- 1 日時 令和6年2月16日（金）18:00～19:30
- 2 場所 神戸中学校会議室
- 3 出席者 委員：是枝徳義、兼丸良政、白塚山隆彦、林佳代子、阿部雅登、北村武
河北瑞希、船戸弘美、平子正人、片岡裕明（学校長）
学校教職員：市川泰（教頭）、樋口智己（教頭）、
青木有紀（教務主任）
教育支援課：加藤稔明（コミュニティスクールコーディネーター）

<教育指導課より>

部活動地域移行について平日はこれまで通り、学校での活動。休日のみ地域移行の予定。令和8年度に完全実施を目指す。

（1）について、現在、地域人材の発掘を行っている。指導者については、外部指導という形で現在関わっている人から。

（2）について、焼津市には9校の中学校があり、本市と似ている。令和6年度にはすべての部活動を地域移行に。

（3）について、協議会を立ち上げた。今年度2回実施。モデル事業として、ソフトテニスで2回実施した。アンケートによると、生徒からは肯定的な意見。保護者からは送迎や費用について、負担感を持つといった不安の声あり。協議会からは、これまで学校がすべて担っていた部分を分散していくため、多少の負担は納得してほしいという意見が出た。

（委員）中学校の部活動に限って？

→休日に活動している部活動について考えている。

（委員）いろいろな学校が混ざること？

→いくつかの学校が集まる方法と、学校へ指導者を派遣する方法の2通りがある。どちらもメリット・デメリットがある。

全部の休日ではなく、とりあえず、入れるところから？

→各競技の代表者と話し合い、空いているところから入れていく。

先生の中には、部活動がやりたくて先生になったという人もいるが？

→アンケートからも、指導に携わりたいという先生もいるため、そのような人たちは教員ではなく、地域の人という扱いで携わっていただく。

（委員）人材バンクの活用は？

→休日に活動している部活動は、市内に107クラブある。各部2名以上の顧問がついている現状なので、そのくらいの人数は必要。種目ごとにベストな形を探っている。

（委員）中体連の参加は？

→今までどおりの参加。地域の団体も参加できるようにしているところ。8年度になるまでには、どの所属として大会に出るのか協議していく。

中体連の大会に出られない生徒が出てこないように配慮してほしい。

(委員) 高校は該当ではないが、最終的には平日にまで手を伸ばすのか？

→現時点では難しい。

1 開会

・是枝委員長挨拶

委員長の任期が終了（3年間）した。

2 報告

(1) 学校や生徒の様子について

学校長から、最近の学校生活の状況等について説明する。

3 協議

(1) 令和5年度学校関係者評価について

学校長から、令和5年度学校関係者評価の取りまとめについて説明する。

(委員からの意見等)

- ・引き渡し訓練、協力したい。
- ・英語習熟度は実現しないのか？
—算数・数学はやりやすい。英語は習熟度に分けるのが難しい。
- ・高校生もコロナのことがあり、外での活動に制限があったが、学校内での活動だけでは物足りない。地域の課題に取り組む時間も持っている。教員志望の生徒は、神戸中に来ている。3月には、小学校6年生に出前授業（理科の実験）を計画している。
- ・先生方の勤務時間見直しもそうだが、働いている人がやりがいを持ってやってもらうのが大切。国の対策は時間に特化してしまっていないか。先生もやりがいを持って取り組んでほしい。
- ・意見を書いていた中で書いていただいたので、十分。習熟度については、小学校でも算数で取り組んでいる。子どもたちはやる気を持って取り組んでいる様子を見た。先生の言葉かけも大事。
- ・学校運営に対して真剣に取り組んでいる姿を見ると、安心して学校へ通わせることができる。
- ・生徒どうしのつながりという部分で、特別支援学級籍の担任と普通学級の担任が連携し、情報共有し、取り組んでほしい。
- ・通級指導教室の取組が評価書に出てこなかったが、どういうものなのか？
—特別支援学級ではなく、知能検査でグレー（IQ80台）の生徒は学習で困り感を持っている。鈴鹿市では、通級を持っている学校に学校長から依頼し、空きがあれば通うことができるシステム。それが神戸中にでき、神戸中生徒は非常に通いやすくなった。それがきっかけで学校に来ることができるようになった生徒

もいる。教科の学習やSSTを行っている。

- ・通級指導教室担当の先生は？
—1人。他中生徒は夕方に来ることが多い。
- ・人数は？負担ではない？
—20人ほど。先生はそれに専念している。

(加藤コミュニティスクールコーディネーターより)

学校関係者評価は学校現場で、どう活かされているのか？PDCAサイクルをまわすため。みなさんの評価はかなりの部分を占めている。教員はこれを見て、検討し、今後の取組を考えている。どんどん意見を言うってもらうことで、みなさんの意見を取り入れることができる。学校長からは「人間同士のつながりの構築」をキーワードとして話があった。来年度は、小中連携の1つとして新たに取組が提案された。(避難訓練) これらの話が来年度、現実として見えてくるはず。それを見ていただいて、PDCAサイクルをまわして欲しい。

(2) 令和6年度学校経営方針について

学校長から、令和6年度学校経営の見通しについて、生徒数や学級数、2年生数学科での習熟度別の継続、校区人権学習授業発表の実施、校内研修の充実方針などについて説明する。

(委員からの意見等)

- ・「保護者への人権啓発を促進する。」では、保護者の人権意識が低いという風に捉えてしまわないか？

子ども同士の関係だけでなく、大人同士の関係も希薄になっている。精神的に弱いのは、子どもだけでなく大人も同じ。大人もSSTが必要なのでは？周りの大人が味方をしてくれたら先生たちも心強いと思う。

(3) 令和6年度学校運営協議会について

学校長から、令和6年度の学校運営協議会の実施方針等について説明する。

4 その他

- ・来年度の予定

第1回学校運営協議会は、5月9日(木)18:00～

第2回学校運営協議会は、6月26日(水)引き渡し訓練の際に実施予定
南海トラフ地震を想定し、徒歩で来ていただく。